

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2単位	基礎演習Ⅱ	小林 俊哉	1年次	秋

授業のキーワード	マスメディア、リテラシー
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	デジタルメディアの驚異的な発達により、私たちのマスメディアとのつきあい方も変わらざるを得ません。ありとあらゆる情報が氾濫するメディアをどのように考え、またそれとどのようにつきあうのか。その基本的なスキルを学び、メディアとの理想的な「つきあい方」を考えます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	私たちが自分の意見だと思っていることも、実はメディアの受け売りということが少なくありません。マスメディアについて興味を持ち、そこで伝えられるニュースとそれの背景となる事象に興味を持ちつつ、最終的に自分のしっかりとした意見を持てるように思考を発展させてください。頻繁に教室内外での作業が必要になります。その作業をきちんとこなすことをお願いします。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	マスメディアとつきあうということとはどういうことなのか、その基本について話します。またゼミの進め方、さらにはゼミ論文について話します。	第9講	テレビドラマについて(その2)	前講引き続き、テレビドラマについて考えます。特にドラマが宣伝プロモートする商品、また社会との関連性を中心に考察します。
第2講	自分にとってのメディア	自分にとってそもそもマスメディアとは何か、どのような役割があるのか、いつ必要なのか、これらの視点で「マスメディア」を持つ個人的な意味を考えます。	第10講	ニュース報道について	メディアにとってニュース報道は非常に重要な分野です。ニュース報道とはどのようなものがあり、どのような構成を有しているのかなど、ニュースの基本を考えます。
第3講	これまでのメディア体験	誰でもマスメディアとは幼少期からさまざまなつきあいをしてきたはずですが、それをあらためて振り返り、メディアによってどのような個人的な影響を受けてきたのかを考えます。	第11講	ニュース報道について(その2)	いくつかのメディアのニュースを取り上げ、なぜ特定のニュースが取り上げられまた取り上げられないのかなど、ニュースの取捨選択に伴う「価値観」について考えます。
第4講	テレビとの接触	最も身近なメディアの一つがテレビです。自分にとってのテレビの視聴パターンにはどのような意味が隠されているのか、ここを一つの手がかりにして、メディアとしてのテレビを考えます。	第12講	ニュース報道について(その3)	ニュースが取り上げられる人一つの手がかりに、ニュースの特性を考えます。「旬な人」とはどのような人なのか展開させてみます。
第5講	メディアと流行	マスメディアが流行を作り出すのか、流行があるからメディアがそれを取り上げるのか、このようにメディアと世の中の流行とは、切り離せない関係性を持っています。メディアと流行との関係について考えます。	第13講	まとめ	これまで扱ってきた事象を振り返ります。またゼミ論文の仕上げ作業を行います。
第6講	テレビコマーシャルについて	テレビコマーシャルをメディアとして考えます。どのような数量のコマーシャルが流れているのか、特別な技法などによって使われているのか、誰をターゲットにしているのか、自分自身に与えたコマーシャルは何かなどの視点で考えます。	第14講	まとめ	第13講と同じ
第7講	テレビコマーシャルについて(その2)	個人的な生活から社会のあり方、また国際関係までテレビコマーシャルには常に一定の価値観が内在しています。その価値観とはどのようなものなのか、私たちにどのような影響を与えているのかについて考えます。	第15講	ゼミ論文提出	
第8講	テレビドラマについて	かつてテレビドラマはテレビの華でした。これまで視聴してきた、あるいは現在視聴しているドラマを手がかりに、テレビドラマと私たちの関係について考えます。	評価方法		不定期に行う個人・グループによる口頭発表 40% ゼミ論文 60%
備考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書(必ず購入してください)			参考文献		
必要に応じて授業中に指示します					